

「変わる富士山測候所」

2004年12月10日初版発行

2005年6月7日第3刷発行

2017年11月26日に野中勝氏を訪問して、当時のお話を伺った結果、事実誤認が判明したので下記の修正を行ないます。(土器屋由紀子)

<修正>

p 49、5・8行、なお、歴史的事実に関しては新田次郎(元気象庁測器課長藤原寛人)の小説から多くを引用しました。「小説」ではあっても、豊富な調査資料を駆使して書かれたことが「あとがき」に記されているように資料的価値が高いからです。(誤) →

なお、歴史的事実に関しては新田次郎(元気象庁測器課長藤原寛人)の小説から多くを引用しました。しかし、「あとがき」を含めて、フィクションの部分が無視できないことが、遺族との話し合いで明らかになりました。到、千代子の滞在期間、健康状態、途中経過などは他の資料(千代子の「芙蓉日記」や到の気象集誌などに書いた文章からも確認できるので、p 51の記述は大幅に間違っていないと思います。(正)